

教 科	地理歴史	科 目	地理総合
履修条件 対象生徒	必修 デザイン科 2 学年		
学習目標	- 世界の生活文化の多様性、防災対策、地域や地球的な課題への取組などを理解する - 地図やGISを用いた調査や諸資料から、地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べてまとめる技能などを習得する - 地理にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連について、位置や分布、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互作用などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けた構想を描いたりする		
学習方法	〔授業〕 - 諸課題の解決策をさまざまな視点で考えられるよう、生徒の対話の機会を増やす - 学習内容の理解が深まるように、身近な話題をとりあげる 〔家庭学習〕 - 日々伝えられる出来事に興味や関心を持つよう促し、ニュースに触れる機会を増やす - 学習内容の定着を図るため、教科書を読む機会を増やす 〔補習・その他〕 - 補習は設定しない（受験などで必要な場合は個別に対応する）		
学習計画 と ね ら い	< 1 学期末考査まで > 第 1 章 地図とGISの活用 < 2 学期末考査まで > 第 2 章 生活文化の多様性と国際理解 第 3 章 地球的課題と国際協力 < 学年末考査まで > 第 4 章 生活圏の諸課題	○地図とGISについて、さまざまな場面で効果的に活用できるよう理解を深める ○現代世界の地域構成に関して、領土や領域、交流や貿易などの基本的な知識を身に付ける ○世界の人々の生活文化を、自然環境、産業の発展、言語、宗教、変容、グローバル化などの視点から多面的・多角的に考察する ○世界の人々の生活文化を尊重し、国際理解を図る ○持続可能な社会の実現に向けて、自分達が取り組むべきことやできることなどを考える ○身近な地域で起こりうる災害やかかえる課題、既におこなわれている施策などを学んだ上で、対話を通じて対策や解決策を見つけていく	
評価規準	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	- 世界の生活文化の多様性、防災対策、地域や地球的な課題への取組などを理解できている - 地図やGISを用いた調査や諸資料から、地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べてまとめる技能などを習得できている	地理にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連について、位置や分布、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互作用などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けた構想を描いたりできている	- 積極的に左記の各能力を身に付けようとしている - 他者との対話の場で、自身の意見を表明できている
評価方法	授業への参加、定期考査、課題および提出物を総合的に判断して評価します		